



第1736回 2021年6月3日(木) <<週報>>

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘

2. 合 唱 国歌「君が代」,「奉仕の理想」,ロータリーの目的

3. お客様の紹介

- ・第7グループガバナー補佐 コヤマテルヒコ 小山輝彦 様 (伊勢原平成RC)
- ・第7グループグループ幹事 フルヤタカヒロ 古屋貴弘 様 (伊勢原平成RC)
- ・次年度第7グループガバナー補佐 オオヤトシゲ 大屋富茂 様 (秦野名水RC)
- ・次年度第7グループグループ幹事 カンザキタツロウ 神崎達朗 様 (秦野名水RC)
- ・米山奨学生 シルバカーランバアラッチゲドナ・シーギリ・ヒマーシさん



4. 会長の時間

- 今日は6月3日、今月末で神崎・大屋年度の最後になります。この1年は例会が思う様にできず、最初は通常例会ができましたが昼食は抜きになり Zoom になり、最近また皆さん顔を合わせての例会ができるようになりました。1年間コロナ・コロナに振り回され、やりたいことが殆どできずに未消化な1年でした。
- 本来は会員増強という事に力を入れなければいけなかったのですが、なかなかコロナ禍の中で思う様にできませんでした。何とか今年度中にお一人増強という事になりましたが、増強のお願いに行きましてもコロナの話で始まり、コロナの話で終わって、「はいさようなら」というようなことでなかなか思う様にいきませんでした。勧誘(増強)する方もそうですが、クラブに入ろうという心の余裕が持てない、それでも他クラブでは会員増強に成功しているところがあり努力が足らなかったかなと反省しております。
- あと一か月ですが精一杯頑張っていきたいと思っています。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

今月のロータリーレート: 1\$ = 109円

①日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ

②2021年6月ロータリー親睦活動月間のリソース

【例会変更】

【本日の配布物】

- ・1736回例会次第
- ・1735回週報

6. 奨学金授与及びスピーチ



○皆さん、こんにちは。本当に会長さんが話した通り何でもコロナで始まりコロナで終わる時代になっています。

私も米山奨学生になって今月で15ヶ月になりました。奨学生になりまして、毎月皆さんから頂く奨学金を本当に大事に使っております。勉強もアル

バイトもバランスよくできました。勉強の件ですが、修論も80%終わりました。残り20%はあと少しで終わります。ずっと寝不足で疲れていますが、研究を進めている時はとてもおもしろいです。また勉強に戻りまして凄く嬉しい気持ちです。本当に勉強ができたのも皆さんのお蔭です。ありがとうございます、心から感謝しております。9月からは奨学生は終わりますが、時間があるときは名水RCに遊びに来ます。とにかく今は修論のことばかり考えていますが、来月になったら早く提出してほっとして長いスピーチをしようと思っています。今日はありがとうございました。



7. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日 東島さん (6/9)
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日 (会 員)
(配偶者)

8. スマイル報告

- 第7G AG 小山輝彦様(伊勢原平成 RC) } 「一年間、ご協力ありがとう
〃 G幹事 古屋貴弘様(〃) } ございました。」
- 神崎達朗さん「第7Gガバナー補佐：小山輝彦様、第7Gグループ幹事古屋貴弘様、一年間ご苦労様でした。」
- 大屋富茂さん「小山ガバナー補佐、古屋幹事、一年間有難うございました。今後共よろしくお願い申し上げます。」
- 鈴木和夫さん「第7Gガバナー補佐小山様、グループ幹事古屋様、ようこそおいで下さいました。一年間ご苦労様、お世話になりました！」
- 古谷スミ子さん「皆さんにご協力頂き来ました地区補助金が5月末日に入金致しました。2月から始まった絵本贈呈の奉仕活動が完結致しました。ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。」
- 山谷洋子さん「暑い日が続きますね。皆さんお身体ご自愛ください。」
- 桐山晃忠さん「年齢なんてただの数字さ！と言うものの、やはりこたえますね。」
- 原郁夫さん「先週配布されたロータリーの友に、服装の乱れは心の乱れという一文がありました。とかくカジュアルになりがちな昨今、趣旨から外れた拡大偏向解釈のクールビズの考え方が過剰なカジュアル化を招き、マナー・礼儀・相手を思いやる気持ちがなおざりになる傾向にあるのは大変残念です。ロータリアンとしてもクールビズと行き過ぎたカジュアル化の違いは意識してもらいたいところです。TPOをわきまえ、威厳をもって社会の模範となれるような存在になって貰いたいものです。
小山ガバナー補佐、古屋グループ幹事ご苦労様です。」
- 原恵美子さん「天候不順な日々、皆様お体ご自愛くださいませ。スマイルします。」
- 諸星道治さん「第7Gガバナー補佐小山様、幹事古屋様一年間ご苦労様でした。次年度は名水から大屋ガバナー補佐が引き継ぎます。よろしくご協力お願いします。」
- 山本裕宣さん「スマイルします。」
- 矢端雅子さん「秦野市もいよいよ“まん防”追加になり、我慢の毎日です。」
- 酒井健一さん「それぞれの委員会活動は如何でしたか？来週から発表よろしく。」

合計 47,000 円

9. 出席報告

○会員数 16名、○出席義務 16名、○出席数 13名、出席率 81.25%

10. 地区委員会報告 ⇒ 無し

11. 委員会及びその他の報告 ⇒ 無し

12. 新旧ガバナー補佐挨拶



＜第7グループガバナー補佐 小山輝彦様(伊勢原平成 RC)＞

○皆さんこんにちは。たいへんご無沙汰しております。

先程の会長やヒマーシさんのお話しにありましたように、最近の挨拶の枕詞になってきましたように今年は本当にコロナに始まりコロナに終わったという1年でありました。

このような中今年度もあと1か月となり、ご挨拶に伺った次第です。

○何しろ今年度は、ずっと最初から最後までコロナに翻弄され続けてしまいました。直前ガバナー補佐の秋山様は昨年度の

後半はコロナによって多くの苦渋の決断を迫られたというようにお話しをされていましたが、今年度は最初から最後まで変更・中止・延期のようなことばかりでした。秦野名水RCでも本来ならば財団の補助金を活用したテーブルマナーの事業をやりたいかったようですが、断念されたということですが、これは次年度に持ち越されるということで財団の補助金も決定しております。

○こちらのクラブは今年度財団の補助金を使った事業で認定こども園に絵本を寄贈されたということです。

財団の補助金についてお話しすると、今年度追加補助金は5クラブが受けることになりました。次年度の補助金は10クラブの申請がありました。しかし10クラブの大半が一人当たりの寄付金が目標額に達していません。

そんな中こちらの秦野名水RCは抜群の成績なんです。

10クラブ中でも先の5クラブ中でも断トツの1位です。素晴らしいです。財団だけではなく米山も第7Gでは断トツ1位という成績になっています。本当にこれにつきましては見習わなければならないと思っております。



○また今年度予定したものがコロナでなかなかできなかったという話がありましたが、ベテラン会長・幹事のコンビのわりにはオンライン例会を行う等神崎さんらしいなと感じました。また矢端さんもお尽力されたのではと思います。IMの際にもいろいろご協力頂きまして本当にありがとうございました。

いずれにしても、こういったことは神崎会長・大屋幹事の素晴らしいリーダーシップの賜物だと思っております。本当に一年間お疲れ様でしたと申し上げようと思ったら、また次年度も同じコンビでやるということで掛ける言葉が見つかりません。このお二人の息の合ったコンビであれば次年度大屋ガバナー補佐・神崎グループ幹事で素晴らしい年度になると確信しております

○話しは変わりますが、ようやくワクチン接種が始まりました。私も来週第1回目のワクチン接種を行う事になりました。恐らく7月中には半分以上の方がワクチン接種が完了するのではなかろうかと思っております。そうしますと次年度は本来のロータリーの活動ができるのではと思っています。今年度はなかなか思う様にいかないことが多くて十分に満足したとは言いきれませんが、それでもあと1か月というところまで来ることができました。これも偏に皆様のご協力の賜物と感謝しております。そして次年度は本来のロータリーの輝きを取り戻せることを祈念して私の挨拶とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



<第7グループ幹事 古谷貴弘様(伊勢原平成 RC)>

○皆様、一年間ありがとうございました。神崎会長・大屋幹事とは会長幹事会等でリアルで会う事よりも Zoom で画面越しで会うことが多かったんじゃないかと思いますが、やはり人と接して話しをすることの重要さを改めて痛感した一年間でした。

○こんな中でロータリー活動はできなかったことが多かったと思いますが、その中でも奉仕活動を名水RCさんが一生懸命

命取り組んでいる姿に本当に感服な思いで尊敬の念を感じております。

そして一年間勉強させて頂いた面もありますので、次年度大屋ガバナー補佐の時にグループでの活動がいろいろあると思いますので、もし何かあればご協力させて頂きたいと思います。一年間どうもありがとうございました。

<次年度第7グループガバナー補佐 大屋富茂様(秦野名水 RC)>

○このコロナ禍の中、第7Gをリードして頂いた小山ガバナー補佐、古屋G幹事、改めて心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。本当にお疲れ様でございました。

○皆様の推薦により次年度のガバナー補佐を務めさせていただきます。まだこの状況が何時まで続くのか不透明な部分がありますが、先程の桐山さんの「年齢なんてただの数字」という文がありましたが、神崎会長・私大屋幹事ともに結構数字の高い二人ではありますが、しかし気持ちは若いのです。

ことわざに「組織の崩壊を招く最も大きな原因は老人の跋扈である」とあります。私たち二人は老人と思っておりませんので、一つ明るく元気よくグループをリードしていきたいと思っています。

○特に次年度はロータリー奉仕デー・世界ポリオデーという2つの大きなイベントが控えておりますので、この名水RCの皆さんには本当にお力添えを頂かないといけないと思っています。いずれにしましても、ワクチン接種が始まればそんなに長い停滞は無いと思っていますので、是非皆様方のご協力をお願いして私の挨拶とさせていただきます。



<第7グループ幹事 神崎達朗様(秦野名水 RC)>

○大屋ガバナー補佐の補佐を務めるということで、順調にいけば私の出番は無いと思っています。何か問題があったり、トラブルがあったりという時に何とかそのあたりを調整していくことが幹事の役目ではなかろうかと思っています。

今も大屋さんからお話しがありましたが、スポンサークラブとして会員の皆様にはこれからいろいろとお骨折りを頂く事になりますが、これから一年間よろしくお願い致します。

13. クラブフォーラム 会員増強について

<神崎会長より>

○先程もお話ししましたが、コロナ禍でできない事も多々ありました。その中で会員数を減らした我がクラブで最重要は“会員増強”ではなかったかと思っています。なかなか思う様に増強が出来なくて現状維持ということで今年度は終わることになると思います。

新しい会員を勧誘する、勧誘する方はどなたか推薦して頂けたら何って話しをすることになりますけれども、入会する側というのはコロナを度外視してもなかなか気持ち的に、ロータリークラブとは「何ぞや」ということで踏ん切りがつかないこともあるかと思っています。

○先日、秦野R Cに伺った際に我が名水R Cに入られていた方のお子さんが秦野R Cに入会されるということでした。考えてみますと我がクラブは秦野で3番目にあたるクラブでありますので、なかなかロータリークラブと聞いた時に、“秦野” “秦野中”と最初に出てくる名前ではなかろうかと思います。したがって秦野名水R Cの会員を増やすということは、かなりの努力が必要と同時に秦野名水R Cの独特な特長を何か持たなければ新しい会員に入会して頂くのはなかなか難しいような気がします。

現状、我がクラブはここで会員数を減らすというトラブルがあり、秦野で3番目のクラブでありながら評判を落としたということで、先のお子さんも秦野R Cに入会されたのではなかろうかと思います。

秦野名水R Cの独特の雰囲気・特長はなかなか難しいですが、例えば特に青少年に対する奉仕活動というのは少年野球から始まり今回のこども園に絵本の贈呈というようなことでかなり特化していると思います。また先日英語スピーチコンテストの実行委員会に出席しましたが、これも小中学生が対象ということで我がクラブは青少年奉仕にかなり力を入れていると思います。このあたりを更に伸ばしていけばいいのかなと漠然と思っています。

○いずれにしても、会員を増やすという事は、今年度の最重要課題で会ったにも係わらず思う様にいきませんでした。会長・幹事の怠慢と言われても仕方ないと思っています。次年度は、会長・幹事から外れますが增強に一生懸命務めていきたいと思っています。

<桐山会員增強委員長より>

○最初は增強しようと張り切ってクラブフォーラムも数回開催しました。ところが“量より質”だということを言われ力が抜けてしまいました。また入会の話しに伺う際には会長・幹事に是非一緒に行って頂きたかったと思っています。力及ばず申し訳なかったと思っています。



<大屋幹事より>

○桐山委員長から、会長・幹事の同行がなかったということですが、大変申し訳なかったと思います。

只今会長からお話しがありました退会された方々のグループがあり、非常に良いグループだと思っておりグループのトップの方の所へお邪魔したのですが、いろいろ話しはしましたが、再入会というのは非常に難しい壁があるんだなと強く感じました。

また次年度は私が会員增強委員長なんですよね。次年度はたいへん忙しい年度になりそうだと思いますが、そんなことばかりは言ってもらえないので何とか一人でも二人でも新しい会員を迎え入れたいと思っています。

○先程小山ガバナー補佐も言われましたが、名水R Cの財団・米山に対する寄付額は2780 地区内でも非常に優れたクラブだと認められていると思います。これは思うに親クラブである秦野中クラブから創立当初より指導して頂きました。その関係で地区を通して高額な寄付をしています。そして16名という会員数ではありますが社会奉仕・いろいろな奉仕活動は非常に纏まり良く皆の意見が統一されて実施されているなと私は誇りに思っています。

14. 点 鐘